



赤見だより



あかるく かしく みんななかよし

2026年10月 第7号

運動会に向けて

学校は、10月から後期に入りました。児童会役員や学級役員などの選挙が行われる時期です。児童は、自分たちの手でさらに充実した学校生活を過ごせるようにと頑張っています。

授業での様子に目をやると、どの学年の児童も10月24日(土)に実施予定の「ふれあい運動会」に向けて、日々の練習に取り組んでいます。運動が好きだ、得意だという子だけでなく、運動が少し苦手だと感じている子も、自分のペースでできることを増やそうと取り組んでいます。素晴らしいことだと思います。

体育の授業としての限られた練習時間ではありますが、子供たちが個人としてだけでなく、集団としての成長も目指していきます。学校で毎日頑張る子供たちに、ご家庭での励ましの声かけや日々の健康観察など、ご協力をお願いします。



「あかるく かしく みんななかよし」な学校であるために

校舎の3階南側の外壁に、「あかるく かしく みんななかよし」の文字看板が設置されています。文をつくっている3つの部分には、以下の願いが込められています。

- あ かり く … 明るくたくましい健康な子
- か し こ く … よく考え進んで学ぶ子
- みんななかよし … だれとでもなかよく思いやりのあふれる子



2学期がスタートしてほぼ1か月が過ぎた9月最後の朝礼で、「みんななかよし」について改めて児童に考えてもらいたいと思い、次のような話をしました。

いじめ(暴力・暴言)は絶対にしない

- ① 相手の気持ちを考える : 自分が言われて嫌なこと、されて嫌なことは絶対にしない。
- ② 優しい言葉を使う : あたたかい言葉かけで、お互いの心と笑顔を守りましょう。
- ③ 勇気を出して声をかける : 困っている友達がいたら「大丈夫?」と優しく声をかけあおう。

相手を傷つける言葉(悪口・暴言)、手や足を出す行為(暴力)はだめ!

- 相手だけでなく、周りの人、相手の家族、自分の家族も悲しい気持ちにさせてしまいます。

困ったときは一人で悩まないで

- ① 友達や家族に話してみよう : 少し話すだけで心がすっと軽くなることがあります。
- ② 先生たちはみんなを成長させる味方でありたい : つらいとき・苦しいときに教えてほしい。
- ③ 学校を安心して過ごせる場所に : みんなで助け合って笑顔あふれる学校にしよう。

「これくらいいいだろう」という思いで、相手に無理をさせたり、嫌な思いをさせたりしていませんか。子供たちも、周りの大人も、時には自他の言動を見直すことが大切です。また、「みんななかよし」な赤見小をめざすには、保護者・地域の方のご協力も欠かせません。子供だけでなく保護者・職員の笑顔も守るため、様子を見守る、声掛けをする、話を聞くなど、できる限りのアクションをお願いいたします。



交通事故を防止、被害を軽減するために

- 交通ルールを守り、道路への飛び出しは絶対にしない。
- 自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。
- 自動車も自転車も、歩行者の安全に気をつけましょう。
- 横断歩道を利用しましょう。横断中も左右の安全を確認しましょう。
- 信号のある交差点では、信号に従って通行する。渡る前に左右を確認。(止まる・見る・聞く・待つ)
- スマホを操作しながらの運転はやめましょう



地震への備えに気をつけながら過ごすために(一宮市ウェブサイトを参考)

- 家具・本棚などが固定されている。
- 家族が別々の場所で地震にあった場合の連絡方法を決めている。
- 停電しても、懐中電灯などで1週間くらい明かりを維持できる。
- 非常持ち出し袋が用意してある。
- ライフライン(電気・ガス・水道)が止まっても、保存食材で家族が3日間以上食べられる。
- 避難場所や避難経路について理解している。



など

【 異常気象時(大雨・河川氾濫・土砂災害等)における登下校について 】

レベル4・レベル5の発表時

発表中の 気象情報	タイミング	基本対応	注意事項 (お願い)	連絡方法
レベル4 【危険警報】 または レベル5 【特別警報】 	登校前	登校せず (自宅待機)	・児童に登校させない ・警報解除後も、安全が確保できるまで登校させない	必要に応じて tetoru で連絡
	登校後 (在校中)	授業中止・ 学校待機 (引き取り要請 の場合あり)	・児童は学校の安全な場所で 待機(基本教室)させる ・警報解除後も安全が確認されるまで学校で待機させる ・気象状況を考慮し、引き取り のお願いをする場合あり	tetoru または 学校ウェブサイト (両方の場合もあり)

学校とのより良い関係構築にご協力ください

10月1日から「カスタマーハラスメント」防止措置が義務化されました。厚生労働省による「カスタマーハラスメント防止指針」を踏まえ、文部科学省は「学校と保護者・地域住民等とのより良い関係構築のためのガイドライン」を作成しました。10月13日以降に、このガイドラインの内容に基づく保護者向けの資料を tetoru 配信および家庭数でのプリント配付をします。



学校と保護者・地域住民等
とのより良い関係構築のため
のガイドライン



https://www.mext.go.jp/content/20260828_mxt_kyokujinzei01-00006216_1.pdf

『保護者・地域住民の皆様へのお願い』(文部科学省より)

学校と保護者や地域住民等は、いずれも児童生徒一人一人の健やかな成長を支える共通の立場にあるパートナーです。保護者や地域住民の皆様におかれては、学校とのより良い関係構築への協力をお願いします。



適切な
表現・声量

怒鳴るなどの行動は
お控えください



適切な要求

学校ができないこともあることを
御理解ください



適切な時間内
の御相談

御相談は定時内に
過度に長時間の御相談は
お控えください



SNSでの
拡散

先生や子供を傷つける
SNS投稿はお控えください



文科省より

ウェブサイトをご覧ください



学校ウェブサイトにて、日ごろの学校の様子や教育活動に関する情報を掲載し、本校の取組を知っていただけるようにしています。右にある2次元コードをスマートフォンで読み取ると学校 web サイトにアクセスできます。



赤見小